

2月4日(日)開催 第3013回例会
兵庫県山岳連盟同調例会
冬季山行バスハイク/ふるさと兵庫 100山
「雪の粟鹿山と与布土温泉へ」に参加して
一王山支部 G.N

冬の但馬の山々へはスキーで行くことはあっても、登山目的で行く機会はあまり無い。初めての山へ、しかも雪山ともなれば経験者に同行してもらわねば安心且つ安全登山とは言えない。昨年は雪の千ヶ峰行に参加させて頂いたが、もう少しで頂上・・・の所でタイムアウトとなり、少々残念ではあった。しかし、40名もの参加者の安全を考えてのリーダー判断は適切であった！・・・と、ベテラン参加者がバス内で語っておられた。だからこそ楽しい登山として終えることが出来るのだ！・・・なるほどと納得し、帰路の温泉を楽しんだ冬季山行であった。

年末に会長から雪の比良へ行くが行くか？・・・と誘われ、正月2日と6日の2回も雪山を楽しませて頂いたが、飽きることなく岳連企画の雪の粟鹿山にも参加させて頂くことにした。



登山起点となる山東自然の家手前の当勝神社で降車

丹波市側から朝来市へ入るまで雪はほとんど無く心配したが、遠坂トンネルを出た途端雪国の景色となった。山東ICから登山の起点となる市立山東自然の家までは10分程。手前の神社前でバスを降り、自然の家のグラウンドにて準備体操を行った。



入念に準備体操を行う参加者

トイレを済ませ、身支度を整えた後出発。42名の参加者は、雪の感触を楽しみながらゆっくりと歩き出した。獣除けのゲートを抜け、15分程歩いた所から登山道に入る。ここからは植林された林道となりジグザグの急登が続く。流石に入山者が少ないのか、踏み後が結構不明瞭。しかし、ふるさと兵庫100山を知りつくされたリーダーは、コース誘導、休憩のタイミング等、多人数の参加者を楽しませながら歩いて下さる。



ジグザグに登る植林帯の中で一休み！

今回の山行は表題に謳っているように、下山後、温泉と懇親会？を楽しむようになっており、山頂962メートルを踏まなくても予定時間が来ると下山にかかる・・・となっていたので大変気が楽であった。

標高700mの高さを横切っている林道・粟鹿線に飛び出た所で予定時間となり、折り返し地点となった。山頂はもう少しの様に見えるが、踏み後無く、この雪だと2時間近くかかるようだ。



雪を被った但馬の山々をバックに！



参加者全員で記念撮影



昼食を済ませた後、記念撮影に納まった。この時間を惜しむように雪に触れる者、雪景色をカメラに収める者、又コーヒータイムを楽しむ者・・・と、束の間の休息時間を楽しんだ後、下山行動に移った・・・。



お元気な旗振支部のM・Kお姉様！



保久良支部の雄姿！

与不土温泉はのどかな農村の中に有り、露天風呂をゆっくりと楽しむことが出来た。・・・貸切られた大広間では誰はばかりことなく、大いに盛り上がった懇親会であったのは言うまでもない。

天候 晴れ

参加者 42名（内当会員33名）

